

あふれる笑顔 幸せのまち大東の 未来を拓く人づくり

～徹底的家庭応援～

地域の
特色ある
活動

大阪府大東市教育委員会

1 はじめに

大東市は大阪府の東部、河内地方のほぼ中央に位置し、人口約12万人、東7.5km、南北4.1kmで、総面積は18.27km²、豊かな自然が息づく「金剛生駒紀泉国定公園」を境に東は奈良県に、西は大阪市に接しています。

大東市は、すべての大人が穏やかで優しい気持ちで自然に湧き上がり、すべての子どもたちが笑顔で健やかに育つことができる、「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」を進めています。

表題の「あふれる笑顔 幸せのまち大東の未来を拓く人づくり」は、大東市教育大綱に示されている本市教育行政の総合的目標であり、「徹底的家庭応援」は実情と課題に応じて、効果的かつ重点的に取り組む項目の一つです。

子育て及び家庭教育を行う保護者を応援・支援するために「徹底的家庭応援」として家庭教育支援事業を推進しています。

家庭教育支援事業とは、保護者が安心して子育て及び家庭教育を行うために学校、地域人材など、地域の多様な主体が連携協働しながら、親子の育ちをまち全体で応援・支援する取り組みです。

これらの取り組みを推進するために、地域、行政の福祉・保健・産業文化・教育の4部局で構成する家庭教育支援チーム「つぼみ」を教育委員会事務局に設置しています。地域住民や企業、各種団体等、地域に根差した身近な人材による互恵的で循環的な支援が行えるようにネットワークを形成し、専門的な支援

を必要とする家庭から、現時点ではそのような必要性がない家庭まで、広くユニバーサルに切れ目のない支援を行っています。

2 家庭教育支援事業の取組み

(1) 公立小学校1年生の全戸家庭訪問

大東市には、小学校12校、中学校8校があり、家庭教育支援チーム内に12小学校区単位でスクールソーシャルワーカーと地域人材で構成する相談・訪問チームを設置しています。幼児教育から学校教育へ環境が大きく変わる時期で不安や困りごとのある保護者が多く、9年間の義務教育過程の早い段階から学校や保護者間、地域とつながり、家庭の孤立を未然に防止するために、公立小学校1年生の家庭を対象に状況把握調査を行ったうえで、相談・訪問チーム員が全戸家庭を訪問しています。



(2) ほっと一息つけるサロン型支援

保護者と地域とがつながるきっかけをアウトリーチ活動で行った後、相談・訪問チーム等で保護者が気軽に子育て及び家庭教育について話すことができ、ほっと一息つける場所の提供（いくカフェ）を行っています。「いくカフェ」は、小学校単位で学校や地域の特性を活かしつつ、親子が楽しむことができる工作や読み聞かせなど様々なメニューを加え、保護者間、地域とのつながりを深め、保護者の子育てや家庭教育についての悩みや不

安を軽減し、保護者の孤立の未然防止・予防に努めています。

(3) 学べるセミナー型支援

保護者への学習の機会や情報の提供を図るために「家庭教育講習会」や「家庭教育講演会」を開催しています。家庭教育に求められている「流行」を的確に把握し、親子の学びにつながる機会を提供しています。令和4年度は、ICTの飛躍的な進展から、インターネットの危険性やタブレットの使い方、家庭でのルールづくりをテーマに学習の機会や情報の提供を行っています。



(4) 企業との連携協働

まち全体で子育て及び家庭教育を応援するために、「大東市家庭教育応援企業等登録制度」を制定し、企業が子どもの成長を応援する環境づくりを推進しています。社員が家族と一緒にいる時間が増えるよう働き方を変えたり、学校の職場体験を受け入れるなど、様々な取り組みを行っていただいています。企業がこの制度に参画することで、イメージの向上や従業員の家庭教育の充実、働きやすく魅力ある職場環境づくり、ワークライフバランス推進などにつながる利点があり、SDGsや企業の社会的責任とも関連することから当初掲げた100社・団体の目標数を半年でクリアしました。

働く保護者にとって子育てや家庭教育の充実のためには、職場の理解や協力は欠かせないものであり、企業にとっても子どもたちの健やかな成長は、次代を担う人材育成として重要であることから、企業を含め、まち全体で家庭教育を応援する機運の醸成はとても重要であると考えております。

令和4年度からは、登録いただいている企業等にそれぞれの強みを活かした企業版「いくカフェ」を実施していただきます。これにより、地域で集まる場所が増え、より多くの保護者にとって子育てしやすい環境づくりが

できるものと考えております。

(5) 教育と福祉の連携

福祉と教育の連携を図るために家庭教育支援チームの相談・訪問チームの一員であるスクールソーシャルワーカーを担当小学校区の小学校と子育て世代包括支援センター「ネウボランドだいとう」に配置し、家庭教育支援の取組みを生かして、切れ目のない支援を関係機関と連携を図りながら子どもたちを取り巻く環境の改善に取り組んでいます。

3 おわりに

大東市では、大阪市に接する交通の利便性と自然環境を併せ持ち、大都市にはないもので大東市が既に有していることを表現するために「子育てするなら、大都市よりも大東市。」という大東市のブランドメッセージと、教育行政を進めるうえでのスローガン「大東市の教育に大投資」というユニークなメッセージを基に、時代の変化を的確に捉え、教育施策を展開しています。

すべての教育の出発点である家庭教育において、家庭に教育の基盤をしっかりと築くことで学校教育や社会教育にもつながっていきます。しかし、社会の変化により地縁的なつながりや人との関係が希薄化し、家庭教育に関して気軽に相談できる相手を見つけることが難しいというような孤立傾向が増えていきます。家庭教育を応援する取組みを行政だけでなく、まち全体で家庭教育の大切さを考え、まち全体で親子の育ちを徹底的に応援する、支え合うことで「あふれる笑顔 幸せのまち大東の未来を拓く人づくり」につなげてまいります。



教育長
水野 達朗